



カウル類の脱着
はコチラ

Alpro APH8

△ 取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。

△ オートバイ整備の基本的な技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないでください

- レッグシールドや左右のカバーなどの外装を取り外します。
- クランクケース左側のFスプロケットから出ているチェンジセンサーハーネスの9P コネクターを分割します。
- APH8の9P コネクターを割り込ませます。【シフト信号入力】



9Pコネクターは年式、車種によって白または黒です。

- バッテリー付近にある「サービスチェックコネクター」のキャップを外し、APH8の 4Pコネクターを割り込ませます。【電源入力】

※一部の車種はサービスチェックコネクターから12V電源が来ていないため、別途配線直結で12V電源を取る必要があります。



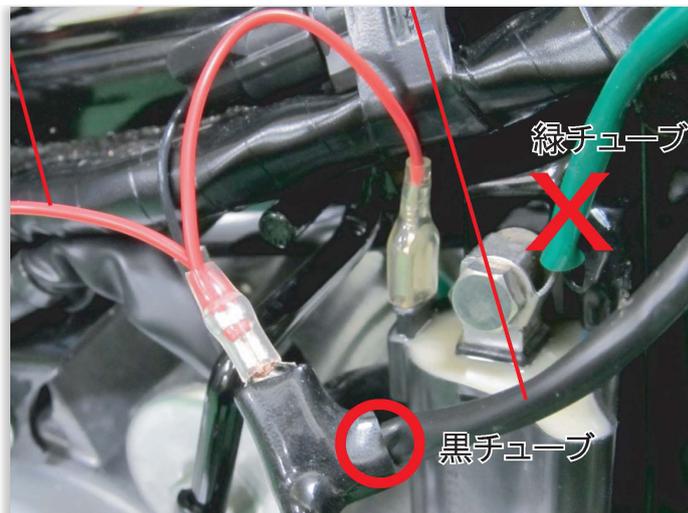


Alpro APH8

【極一部車種のみ】

- サービスチェックカプラーに割り込ませても、電源が入らない車種は下記の作業をしてください。
- APH8の4Pカプラーから黒/赤線を抜き出し、点火コイルの黒チューブ側に配線直結します。
- 緑チューブには接続しないでください！！故障の原因に繋がります。

※仕向地や年式により12V電源の配線場所が異なる場合もありますので、場所不明な際はサービスマニュアルを参照の上、作業をお願いします。



- APH8本体をお好きな位置にマウント
- 配線取り回しが走行に支障がないか確認します。車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の間隙に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定して下さい。

